

令和2年度 高冷地水稲生育速報(第5報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月31日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齡	出穂日
				葉色板	SPAD値		
たかやまもち	本年	—	—	—	—	—	7月24日
	前年	—	—	—	—	—	7月27日
	平年	—	—	—	—	—	7月25日
あきたこまち	本年	—	—	—	—	—	7月29日
	前年	—	—	—	—	—	7月29日
	平年	—	—	—	—	—	7月28日
ひだほまれ	本年	99.4 (109%)	400 (111%)	4.8 (+0.0)	40.6 (+0.6)	13.0 (+0.2)	8月2日
	前年	83.7	355	4.5	41.3	12.0	8月2日
	平年	91.3	361	4.8	40.0	12.8	7月30日
ひとめぼれ	本年	88.7 (102%)	579 (109%)	3.8 (-0.5)	36.5 (-0.5)	13.0 (+0.5)	8月3日
	前年	80.0	520	4.1	36.8	12.0	8月2日
	平年	87.2	533	4.3	37.0	12.5	8月1日
コシヒカリ	本年	96.0 (103%)	575 (116%)	3.8 (-0.3)	34.6 (-0.5)	13.0 (+0.7)	8月6日(予測)
	前年	87.8	471	4.5	38.6	11.0	8月4日
	平年	92.9	495	4.1	35.1	12.3	8月4日

栽培条件：移植5月15日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
栽植密度は、平成27年度は21.2株/m²、H28～31年度は 22.2株/m²

平年値：過去5年間(H27年～H31年)のうち調査を実施した年の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

7月下旬の気温は平年より低く推移した。降水量は平年より多く、日照時間は平年より極端に少なかった。

降水量は7/23～28の期間に特に多くこの期間で271mmの降水があった。また、7/15～7/31の17日間のうち日照があったのは10日間のみであった。

2) 生育概況

生育は草丈がより長く、茎数は平年より多い。葉色は平年並み～やや低い。出穂期は早生品種で平年並み～やや早く、晩生品種は平年よりやや遅い。

3) 病害虫等の発生状況

イネドロイオイムシの発生が確認され、発生密度は高くないが、だらだらと発生が続いている。

7月はいもち病発生の好適条件であったため、発生の有無を確認し、必要であれば防除を行う。

4) 今後の管理

出穂から開花期は稲が最も水を必要とする時期であるため、常時湛水管理とする。また、カメムシ注意報が発令されている。研究所内ほ場でもカメムシが散見される。出穂後4～7日を目安に1回目のカメムシ防除を行い、必要に応じて2回目も行う。

令和2年(2020年)の気象図(高山市)

— 本年
- - - 平年

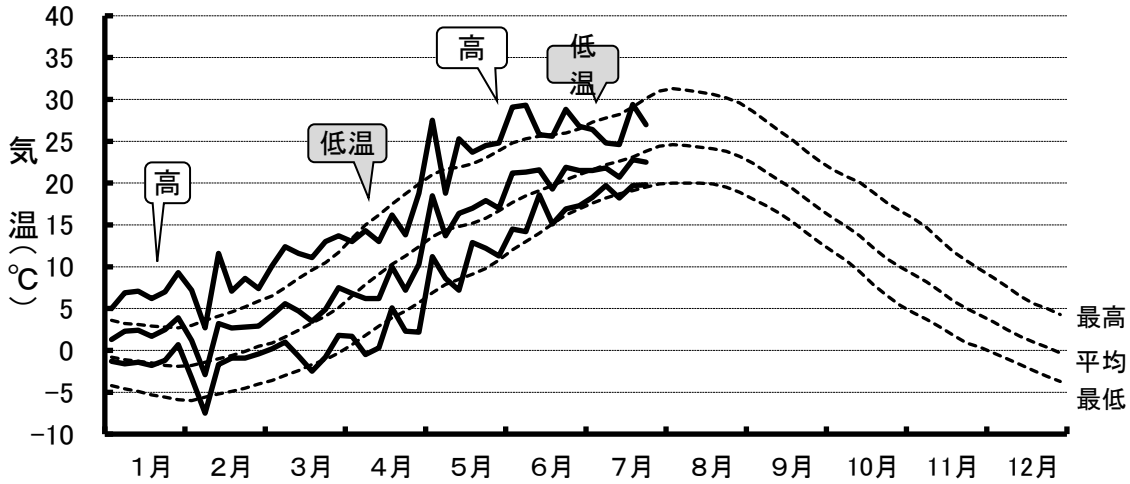


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

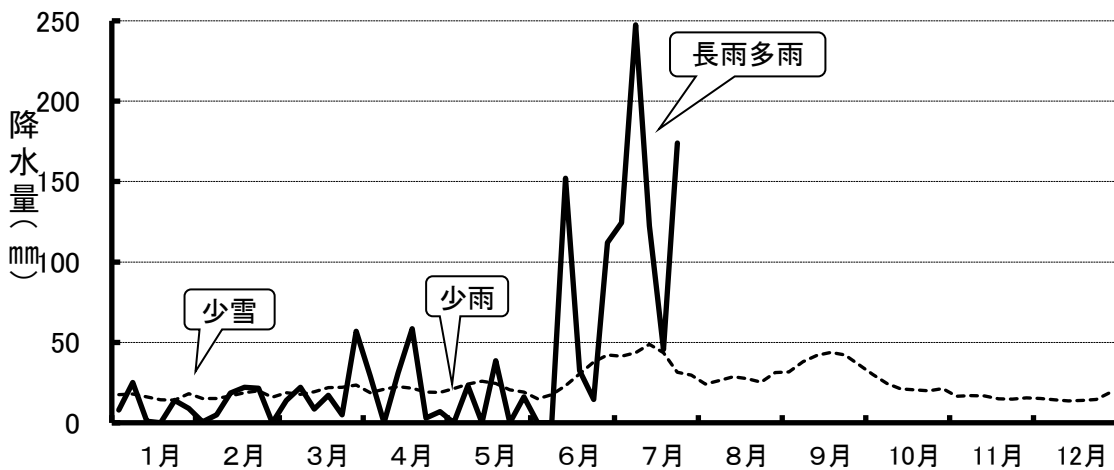


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

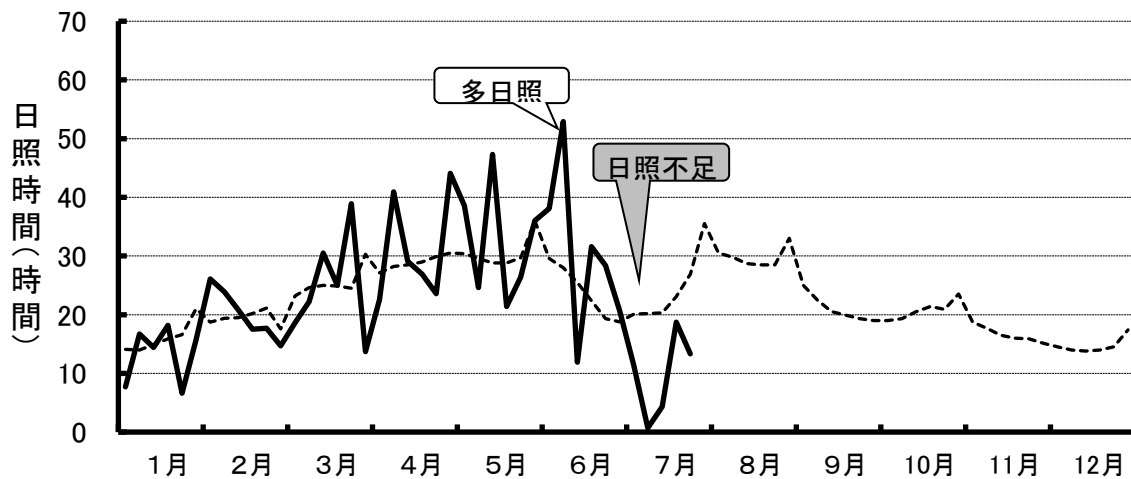


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)

データ: 高山特別地域気象観測所